



11月の園だより

令和5年11月1日
目黒区立不動保育園園長

10月に不動小学校の校庭をお借りして全園児が参加の出来る運動会を行いました。ケガも無く沢山の応援をいただきながら予定通り開催することが出来ました。子どもたちは慣れない場所に緊張している様子も見られましたが、たくさんの保護者の皆様に観ていただけることを喜び、みんな笑顔で参加しました。練習以上の力を発揮して頑張っている姿はとても嬉しそうでした。後日、5歳児にあこがれる3、4歳児は庭に出ると縄を持ちだし、縄跳びを跳んだり、来年はどんな役割がやりたいか等の話をしている姿を見ると心に残る運動会になった様子が伺えます。保護者の方からも「自分の子が出ていなくても、リレーは力が入りました」等の声をいただきました。久しぶりにお客さんの前で競技ができた皆さんの応援をもらい楽しい運動会になりました。子どもたちは一つ行事を乗り越えたことで自信を付け次の行事に取り組みます。一つひとつの経験が子どもたちの力になるように今後も進めていきたいと思ひます。保護者の方々のご理解、ご協力、沢山の心地よい応援本当にありがとうございました。

春に向けて林試の森公園にて管理事務所の方たちと一緒にチューリップの球根をユーカリガーデンに3.4歳児クラスが植えました。進級したら「きれいな花が咲く」と楽しみに、水をあげたり、観察をしたりしながら子どもたちと見守っていきたいと思ひます。



今月の予定

焼き芋会 3.4.5歳児
歯科検診 全園児
交通安全教室 4.5歳児

中旬 身体測定
避難訓練



冬の子ども会のご案内

9:15~12:00 予定

クラス入れ替え制で、3.4.5歳児の表現発表会を行います。

お忙しい時期とは思いますが、保護者の皆様の参観をお待ちしています。開催方法など詳細につきましては、後日お知らせいたします。

~林試の森公園での

散歩の様子~

スラン組0歳児

公園には黄、赤、緑色の葉や木の実がたくさん落ちています。子どもたちも楽しそうに探索に向かい四つ這いや歩いて移動しています。しゃがみ込み何かを見つけている姿に“何があったのかな”と保育士がのぞき込むと、小さな手でどんぐりを一所懸命つかもうとしていました。やっとなつかむことが出来ると笑顔で保育士に見せ、得意そうにしています。これからも自然に触れる楽しさや嬉しさを共有し、戸外遊びを楽しんでいきたいと思ひます。

チューリップ組1歳児



広場の奥にたくさん落ちているどんぐりを見つけ、嬉しそうに拾い、探しながら「ここにもある」という声が聞こえると「どこ」という声が上がるとそんな姿も微笑ましいです。袋一杯拾い持ち帰ったどんぐりから生まれてくる虫(主にゾウ虫)を部屋で育てお世話をしていると、興味津々にのぞき込み、子どもたちは「ごはん(食べる)」と声をかけながら成虫になる日を楽しみにしています。これからも自然に触れ、子どもたちの発見に寄り添っていききたいと思ひます。



コスモス組・3歳児

ダンボ組・2歳児

広場に行くと、子どもたちから「オオカミやろう」と声上がり、線を描いて家の場所を決めたり、木の陰に隠れたりして「鍵を掛けてガチャガチャガチャ」と台詞を言うと、その声を聴いたオオカミ役の子が「トントントン」と扉をたたき、「何の音」と掛け合いが始まります。オオカミの子が「おせんべいの音」「パリパリ」と言いながら食べる真似をしたり、「アイスの音」「ペロペロ」となめる真似をしたりして掛け合いを楽しんでいます。しかし最後には「オオカミだぞー」と声をかけ追いかけて遊びが始まります。これからも子どもたちのイメージを大事にしながら遊びを広げていきたいと思っています。

散歩に行き探索を始めると、たくさんのどんぐりを見つけ、あっという間に紙コップポシェットが満杯になってしまいます。「こんなにいっぱい」と嬉しそうに見せてくれる子どもたちです。もっと拾おうと中腰になると、コップが傾きこぼれてしまいます。困って考えて、落ちないように手や葉っぱでフタをしたり、友だちに「これいる」と確認して譲って上げる等色々工夫をしてもっと拾えるようにしている姿に驚きました。どんぐりが落ちていないエリアでは小さな実を見つけて「これ大きくなったらどんぐりになるのかな」「早く大きくなるといいね」と会話をしながら拾っている姿が可愛いです。これからも季節を感じながら自然に触れていきたいと思っています。



マーガレット組・4歳児



折り紙を型抜きして子どもたちに好きなように紙コップに貼り、色を塗りどんぐりポシェットを作りました。きれいに白が見えなくなるまで色を塗ったり、縦横に線を入れたり自分たちで考えて作り上げたどんぐりポシェットを下げて、散歩に出掛けていき、どんぐりをたくさん拾ってきました。次はどんぐりに色を付け、顔を描き、一人ひとり空箱で家を作り「どんぐり家族」の制作が始まりました。再度、散歩に行くとどんぐりよりも「この葉っぱハートの形みたい。毛布にしたら可愛いかも」「この石、椅子にしたらどう」等どんぐり以外の自然物にも興味を持ち、イメージ豊かにどんぐり家族の家を飾る物を探して、収集を楽しんでいました。これからも子どもたちのイメージが膨らむような遊びを提供していきたいと思っています。

ヒマワリ組・5歳児

散歩に行き青虫の幼虫を見つけました。園に連れて帰り飼育箱で育てることになりました。子どもたちは図鑑を見て「もう青くなっているね」「何令目のかな」など保育士も知らない情報を話していました。青虫の生まれたばかりを1令と言い、一回脱皮をするごとに2令となり、青虫は4回脱皮をするので5令幼虫と呼ばれているようです。ミカンの葉を貰いに行くと、生まれたばかりの茶色の幼虫も見つけ「これも飼ってみたい」と張り切って話をする子どもたち、一人の子が「あっ卵がある」と卵を発見「色が違う」と黄色と茶色の卵を見つけそれも一緒に飼ってみる事にしました。次の日には幼虫になっていて、どの卵からかえったのか分かりませんが毎日、模様の変化を観察しながら新しい発見を楽しんでいます。子どもたちが図鑑で調べたいような発見を、これからも大切にしていきたいと思っています。